



令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加公演



第十五回  
記念

Modern Japanese Song Society  
日本歌曲協会

Modern Japanese Songs with Traditional Instruments (Vol.15)  
A Concert to Celebrate a Hundred Years of the Seventeen-String Koto. 1921-2020

# 邦楽器とともに 誕生百年！十七絃の響きにのせて

2020年  
10月29日(木)

13時40分 開演  
12時50分 開場  
13時10分 プレトーク開始 (途中出入り自由)

東京文化会館小ホール

JR上野駅公園口正面 東京メトロ上野駅7番出口より徒歩5分  
京成上野駅正面口より徒歩7分  
東京都台東区上野公園5-45 [電話] 03-3828-2111

一般5,000円—学生2,000円—全席自由

【チケット取扱い】

日本歌曲協会事務局

info@nikakyou.org

Fax: 044-572-1309

東京文化会館チケットサービス

Tel: 03-5685-0650

http://www.t-bunka.jp/ticket/

【お問い合わせ】

Tel: 044-572-7895 (日本歌曲協会)

Tel: 080-3012-3817 (森田)

【主催】 日本歌曲協会

Modern Japanese Song Society

http://www.nikakyou.org/

【後援】

(一社) 日本作曲家協議会

(特非) 日本現代音楽協会

☉(公財) 日本伝統文化振興財団

邦楽ジャーナル

大日本家庭音楽会

(一社) 全国邦楽器組合連合会

東京邦楽器商工業協同組合

【協力】

作曲家グループ<邦楽2010>

おことの店 谷川

- Thursday, October 29, 2020, 1:40 p.m. (doors open 0:50 p.m.), Pre-Talk 1:10 p.m.
- Tokyo Bunka Kaikan, Recital Hall (In front of the Park Exit, JR Ueno Station. Tel: 03-3828-2111, 5-45, Ueno Koen, Taito-ku, Tokyo.)

Admission General ¥5,000 Student ¥2,000

Ticket

- Modern Japanese song society (e-mail: info@nikakyou.org Fax: 044-572-1309)
- Tokyo Bunka Kaikan, Ticket Service (Tel: 03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/ticket/)

More information contact

- Modern Japanese Song Society (Tel: 044-572-7895),
- Morita (Tel: 080-3012-3817)

※最新の開催情報はHPをご覧ください。

新作歌曲を揃えて

(第一部)

落葉の踊り

- 曲：宮城道雄
- 箏：深海さとみ
- 十七絃：平田紀子
- 三絃：平野裕子

和楽ジャズ

- 「旅から旅へ」
- 温泉劇場の—
- ポスターから—
- 詩：清岳こう
- 曲：福岡頼秀
- 歌：百合道子
- 十七絃：金子展寛
- 尺八：田嶋謙一
- 三味線：杵家七三

(第二部)

六段

- 曲：八橋検校
- 十七絃：沢井一恵

四季と俳句

- 詩：星野高士
- 藤沢麻衣
- 曲：チャド・キャンノン
- 歌：青山恵子
- 箏：福永千恵子
- 十七絃：平野裕子
- 三絃：平田紀子
- 篠笛：あかる潤

猫の恋 二番煎じ

- 小林一茶の—
- 猫の句による—
- 歌と箏、十七絃のための—
- 句：小林一茶
- 曲：菅野由弘
- 歌：山田美保子
- 箏：深海さとみ
- 十七絃：平田紀子

魔女と孫娘

- 詩：原かずみ
- 曲：神坂真理子
- 歌：シユガーシスターズ
- 佐藤容子
- 佐藤寛子
- 箏：金子展寛
- 十七絃：吉澤延隆
- 尺八：田辺頌山
- 囃子：望月晴美

敦盛・直実

- テノール、バリトン、
- 箏、十七絃、篠笛のための—
- テキスト：和合亮一
- エディット：新実徳英
- 曲：新実徳英
- 歌：青柳素晴
- 歌：福岡勲
- 箏：深海さとみ
- 十七絃：福永千恵子
- 篠笛：藤倉推峰

プレトーク

《新しい日本歌曲と  
誕生百年を迎えた十七絃》

菊地悌子

沢井一恵 藤本草 森田澄夫

☆プレトーク中は出入り自由です

# Modern Japanese Song Society Concert

## 第15回記念「邦楽器とともに」に寄せて (順不同)

聴衆を魅了し続ける邦楽器がたくさんあるのに、どうして、それも長い間にわたって「邦楽器と歌のための新しい創作」がほとんど行われてこなかったのだろう。今年15回の節目を迎えた「邦楽器とともに」コンサートシリーズは、新作初演という極めて高いハードルを自ら設定し、作曲家と詩人と演奏家が本気で跳び越えながら続けられてきた運動体だ。

今回、新たな光が当てられるのは十七絃。邦楽の器楽性拡大を担ったこの楽器の未知の領域へのチャレンジが大きな成果となることに期待が膨らむ。

公益財団法人日本伝統文化振興財団 理事長 藤本草

ロサンゼルスを拠点に様々な音楽活動をしています、以前より日本文化にとっても興味を持ち、邦楽器にも魅せられて自分の作品にしばしば取り入れています。今回、「邦楽器とともに」の新作として俳句に作曲をするというご縁を頂きました。自分のライフワークとして、今「アジア・アメリカ現代音楽の文化外交」を進めています、この作品も日本とアメリカの大きな文化外交となることと大いに期待をしています。

アジア・アメリカ現代音楽協会 (AANMI) 代表理事 作曲家 チャド・キャノン

西洋音楽の声楽家と邦楽家との「壁」を取り除く試みを重ねる「邦楽器とともに」の演奏会も15回となる。アンサンブルの低音補強を目的に、宮城道雄が1921年に生み出した十七絃の、今年100年目に当たる。爾來改良を重ね、独奏楽器としての地位も築いてきた十七絃が、これまでほとんど接点が無かった「歌」との新たな可能性を模索する新作による画期的試みが行なわれる。今日の十七絃に育て上げた功労者、菊地悌子と現代の十七絃奏者の第一人者、沢井一恵も、錦上花を添える。

評論家 國土潤一

## 置き去りにされた歌と現代邦楽の再融合

洋楽にも精通していた宮城道雄が、西洋音楽が持つ圧倒的な音の幅と厚みを邦楽器で表現するために、低音系の楽器の必要性を痛感し、十七絃を発明して今年で丁度100年になります。十七絃の発明こそが、その後の現代邦楽の特徴とも云える、器楽曲隆盛の音楽を支える一つの起爆剤となりました。この発明は、それまでの歌に寄り添った邦楽曲が言葉や歌の無い器楽曲の世界を展開することを可能にした最大の事件ということも出来ます。

今回は第15回記念特別企画として、100年前の披露曲「落葉の踊り」を冒頭に、現代解釈による「六段」二曲の器楽曲と、新曲6作品、全てに十七絃を配して、「邦楽器とともに」の目的である、置き去りにされた歌と現代邦楽の再融合とも云える新しい歌曲の世界をお届け致します。

日本歌曲協会 代表 森田 澄夫

Pre-Talk / KIKUCHI Teiko, SAWAI Kazue, FUJIMOTO So, MORITA Sumio  
Poets / KIYOTAKE Ko, KINOSHITA Nobuko, HARA Kazumi, HOSHINO Takashi, FUJISAWA Mai, KOBAYASHI Issa, WAGO Ryoichi,  
Composers / MIYAGI Michio, FUKUSHIMA Yorihide, TAMARU Sawako, KAMISAKA Mariko, YATSUHASHI Kengyo, Chad CANNON, KANNO Yoshihiro, NIIMI Tokuhide,  
Singers / YURI Michiko, SHIMONOTO Ayumi, SUGAR SISTERS (SATO Yoko, SATO Hiroko), AOYAMA Keiko, YAMADA Mihoko, AOYAGI Motoharu, FUKUSHIMA Isao,  
Instrumentalists / <koto> FUKAMI Satomi, KANEKO Nobuhiro, FUKUNAGA Chieko,  
<17 string koto> HIRATA Noriko, KANEKO Nobuhiro, HIRANO Hiroko, YOSHIZAWA Nobutaka, SAWAI Kazue, FUKUNAGA Chieko, < shamisen > HIRANO Hiroko, KINEIE Nami, HIRATA Noriko, <shinobue>AKARU Jun, TOSHA Suiho, <shakuhachi> TAJIMA Ken'ichi, TANABE Shozan, <Hayashi>MOCHIZUKI Harumi  
Presented by Modern Japanese Song Society  
with support from the Japan Federation of Composers, Japan Society for Contemporary Music, Japan Traditional Cultures Foundation, Hogaku Journal, Dainihon Katei Ongakukai, Zenhouren, Touhoukyou, the Hogaku Composers Alliance 2010 and Okoto no Mise TANIKAWA



### 東京文化会館

東京都台東区  
上野公園5-45  
Tel.03-3828-2111

JR上野駅

公園口改札から徒歩約1分

京成上野駅、正面口

改札から徒歩約7分

東京メトロ上野駅

7番出口から徒歩約5分

### 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ・客席の利用を通常の半数以下にしております。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・大人数での来場、大声や対面での会話はお控えください。
- ・花束等の受け取りは遠慮させていただきます。また楽屋口でのご挨拶も控えさせていただきます。

### 以下の方はご来場をお控え下さい

- ①37.5度以上の発熱がある場合
- ②咳、鼻水、倦怠感など風邪の症状がある場合
- ③新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合
- ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び該当在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤ご自身の体調に不安がある場合

### 賛助会員募集

当会の活動に広くご支援をお願いしたいと、賛助会員を募集しております。是非ご参加いただき、当会の活動の推進力になって下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

個人会員 1口1万円 (何口でも可)

法人・団体会員 1口3万円 (何口でも可)

加入者名 日本歌曲協会

郵便振替口座 00130-6-792383「日本歌曲協会」



日本歌曲協会  
Modern Japanese Song Society

日本歌曲協会は、詩人・作曲家・声楽家・邦楽演奏家の四者によって構成され、日本の伝統楽器を共演楽器として声楽家が歌う新しい日本の歌の創作、普及を図ることを事業の中心に据えて、その発展を目的とする団体です。 [日本歌曲協会](#) 🔍 検索